

# さくら ほっと NEWS

## 特集

▶ **病理診断部のご紹介**

P.2・3

## お知らせ

▶ **皮膚・排泄ケア認定看護師のご紹介**

▶ **NICU・GCUの増床工事が完了しました**

P.4

### 理念

当病院は、地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、質の高い医療人を育成します

### 基本方針

- ・ 大学病院として、高度先進医療を提供します
- ・ 高度情報化を進め、安全で開かれた医療を提供します
- ・ 医学教育を充実し、高い倫理観を持ち信頼される医療人を育成します
- ・ 名古屋都市圏の中核医療機関として、市民の健康と福祉を増進します

## 名古屋市立大学病院

### 患者さんの権利等

#### 患者さんの権利

良質の医療を受ける権利  
 情報を知る権利  
 選択の自由の権利  
 自己決定の権利  
 機密保持を得る権利

患者さんは、人格や意思が尊重され、質の高い医療を平等かつ安全に受けることができます。

患者さんは、ご自身の病気や治療について知ることができるとともに、十分にわかりやすい説明をうけることができます。

患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身で選択し変更することができます。また、他の医師の意見を求めることもできます。

患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身の意思に基づいて決定することができます。

患者さんのプライバシーは十分に尊重されるとともに、個人情報は厳正に保護されます。

#### 患者さんの責務

- 病院の規則や治療上必要な指示・助言を守って療養してください。
- ご自身の健康状態について、できるだけ正確に伝えてください。
- 説明を受けても十分に理解できない場合は、納得できるまでお尋ねください。
- 他の患者さんの権利を尊重し、暴言・暴力等の医療の妨げとなるような行為は行わないでください。
- 医療費の自己負担分は必ずお支払いください。

#### お願い

- 大学病院として、医療スタッフを育成するため教育実習を行っていますので、ご理解とご協力をお願いします。

vol.30  
2014年12月

## 病理診断部のご紹介

当院では平成26年度より病理部から病理診断部へと名称を変更いたしました。

患者さんが来院されると、適切な治療のために適切な診断が必要になります。患者さんの体より採取した病変の組織や細胞から顕微鏡用ガラス標本を作製し、この標本を顕微鏡で観察し診断するのが“病理診断”です。

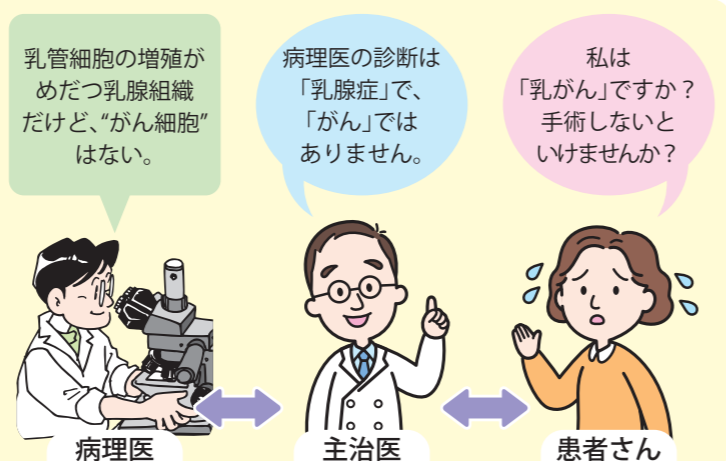
病理診断は治療の方向性を決定する「最終診断」として大きな役割を果たします。この標本を作製するのが臨床検査技師であり、病理診断を行う医師が病理専門医です。病理専門医と臨床検査技師の良好なチームワークにより、精度の高い病理診断が行われます。

### 1. 組織診断

#### ① 生検組織診断

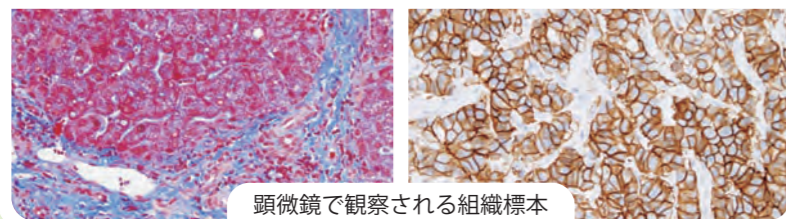
胃・大腸や肺の内視鏡検査を行ったときに病変があった場合や、皮膚に病変があった場合に、それらの病変の一部を採取し顕微鏡標本にして病理診断を行います。この一連の作業で行われる病理診断が生検(せいけん)組織診断です。この診断内容により治療方針の決定がなされます。

※イラストは生検された乳房のしこりの病理診断がどのように生かされるかを例示しています。



#### ② 手術で摘出された臓器の組織診断

生検組織診断から手術が必要になり、胃や肺などの一部や全体を摘出した場合、その摘出臓器は、病理医が肉眼で病変の部位・大きさ・性状・広がりを確認し、診断に必要な部分を切り出します。その後臨床検査技師が顕微鏡用ガラス標本の作製を行います。その顕微鏡標本を病理医が詳細な所見を取り、肉眼所見や臨床所見と併せて病理診断を行います。この診断内容により手術後の治療方針の決定がなされます。



#### ③ 手術中の迅速組織診断

手術中に至急で病理診断が必要な場合に、術中迅速診断を行います。手術中に病変部などから採取した組織を-20℃で直ちに凍結し、顕微鏡観察に適した標本を作製します(写真右)。15分程度で標本は作製され、得られた病理診断は手術室にいる執刀医に直ちに連絡されます。その病理診断では、“病変が取り切れたのか”、“がんの転移の有無”などの内容で、手術方針が決定・変更されます。



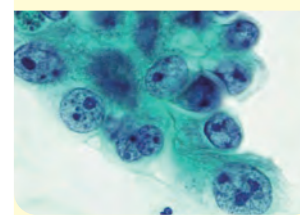
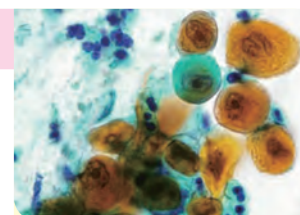
### 2. 細胞診断

#### ① 液状・分泌液・吸引穿刺液などの細胞診断

“肺がん”や“膀胱がん”では、痰や尿の中に“がん細胞”が混じります。痰や尿を顕微鏡で調べて、“がん細胞”がいるかどうかを判断するのが細胞診断です。他に子宮から細胞をこすり取り、また乳房のしこりがあると細い針を刺して吸引し、取れた細胞の中に“がん細胞”がいるかどうかを調べるのも細胞診断です。

#### ② 手術中の迅速細胞診断

手術中に胸やお腹を開き、溜まった液体の中に“がん細胞”がいるかどうかを調べたりするのが術中迅速細胞診断です。液体中に浮遊する細胞を集めて標本にし、顕微鏡を用いて診断されます。手術中の迅速組織診断同様に診断結果はすぐに執刀医に連絡され、手術方針に反映されます。



顕微鏡で観察される細胞標本

### 3. カンファランス(症例検討会)

患者さんの治療方針を決定するために、各診療科の医師と病理医とのカンファランスは欠かせません。また、悪性腫瘍の場合については、複数の診療科医師と他職種の看護師や薬剤師と病理医が集まって治療方針などについて意見交換を行うカンサーボードも頻回に行っています。

### 4. 病理解剖と臨床病理検討会

ご遺族の承諾のもとに、亡くなられた患者さんのご遺体を解剖させていただくのが病理解剖です。どのくらい病気が進行していたのか、適切な治療がなされていたのか、治療の効果について、死因は何か、あるいは診断は正しかったか、などといった判断を病理医が行います。その後担当診療科の医師と病理医とのカンファランス(臨床病理検討会)が行われ、検討結果は今後の診療に反映されます。



## 皮膚・排泄ケア認定看護師のご紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師は、褥瘡(床ずれ)などの創傷や、ストーマ(人工肛門・人工膀胱)及び失禁などの排泄に関わる分野を専門としています。私は皮膚・排泄ケアに携わる看護師として、褥瘡やストーマ、失禁等の排泄に伴う問題をお持ちの方々に入院中から退院後にも療養生活を円滑に過ごせるようサポートしています。

外来では看護保健指導室においてストーマに関する相談を受けています。自宅での生活では入浴や外出など入院中には経験することのなかった行動がたくさんありますので、一人ひとりの生活スタイルにあわせた対処方法を患者さんと一緒に考えています。私は看護保健指導室で退院後の患者さんと長期にかかわる機会が増えてから、患者さんにとって入院や手術は通過地点であって退院してからが本番なのだということを実感しています。日々の生活の中で皮膚トラブルやお困りのことがないか、プライバシーに配慮した個室で時間をかけてお話を伺ったり疑問にお答えしたりしながら、少しでも不安が軽減し、安心して生活が送れるようなお手伝いができればと思っています。

入院中の患者さんのケアでは、ストーマ以外に褥瘡予防にも力を入れています。入院中の患者さんには、治療に伴う行動制限や病状に伴う活動低下など褥瘡を発生しやすい状況にある方も多くいらっしゃいます。病棟の看護師と協力し入院される全ての患者さんについて褥瘡の発生する危険性を検討し、必要に応じた予防対策を行っています。褥瘡が発生することで本来の病気の治療の妨げとなったり、入院期間が延長したりしないように努めています。



中尾敦子 主任

看護部 中尾 敦子

## NICU・GCUの増床工事が完了しました

当院では分娩部門と未熟児・新生児部門が連携し、「安全なお産と早産児の後障害無き生存」を目標として分娩育成先端医療に取り組んでまいりました。そして、さらに充実した医療の提供をめざし、平成26年5月よりNICU(新生児特定集中治療室)・GCU(新生児治療回復室)各3床の増床工事を行い、12月よりNICU12床、GCU15床として稼働を開始いたしました。今後も胎児期から出生後まで継続した高度な医療を提供し、市民の皆さまの安心に貢献してまいります。

工事期間中は関係の皆さまにはご迷惑をおかけいたしました。

また、当院の趣意にご賛同いただきご寄附のお力添えを賜りました皆様には心よりお礼申し上げます。



写真左上 NICU  
写真左下 GCU入口  
写真右 GCU

### 寄附顕彰～NICU・GCU増床のためのご寄附ありがとうございました～

#### 個人

浅井 隼人 様	今枝 正行 様	荻野 高敏 様	嶋 康子 様	並河 英幸 様	山田 結月 様
天野 智広 様	井元千佳子 様	小野内進二 様	杉山 成司 様	林 繁昌 様	吉川こどもクリニック院長
安藤恒三郎 様	岩佐 充二 様	加藤 昌子 様	鈴木 孝一 様	松永小児科医院院長	吉川 龍雄 様
井口 敏之 様	ひいらぎこどもクリニック院長	金山 学 様	鈴木 賀巳 様	松永 智幸 様	よしだ小児科医院
石川 韶子 様	植田 昭仁 様	亀井 美智 様	寺田 明彦 様	安江 良三 様	吉田ゆかり 様
石川 直 様	大山 碩也 様	木戸内 清 様		山口久美子 様	
伊藤 榮源 様					

#### 法人・団体

志水こどもクリニック 様

(平成26年12月1日現在 五十音順 ご芳名の公表に同意された方)

管理部

名古屋市大病院

ホームページの検索方法の案内「名古屋市大病院」で検索

検索

クリック

<http://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/>



このQRコードをケータイで読みとると簡単にホームページが見られます。

名古屋市大病院さくらほっとNEWSへのご意見・ご感想をお寄せください。E-mailは [hotnews@med.nagoya-cu.ac.jp](mailto:hotnews@med.nagoya-cu.ac.jp) まで!